
向日町競輪場基本構想

【資料編】

目次（資料編）

1 現状・課題	2～4頁
2 車券売上・収支の見通し	5～9頁
3 持続可能な競輪事業に向けた取組	10～13頁
4 競輪事業の継続に必要な施設の再整備	14～25頁

1-2 各施設の現状 (写真: 全体)



1-3 各施設の現状 (写真：個別)



競走路 (バンク)



第1・第2観覧席

中央スタンド

観戦スタンド



観戦スタンド・第3投票所



観戦スタンド・特別観覧席



観戦スタンド・2階



東入場門

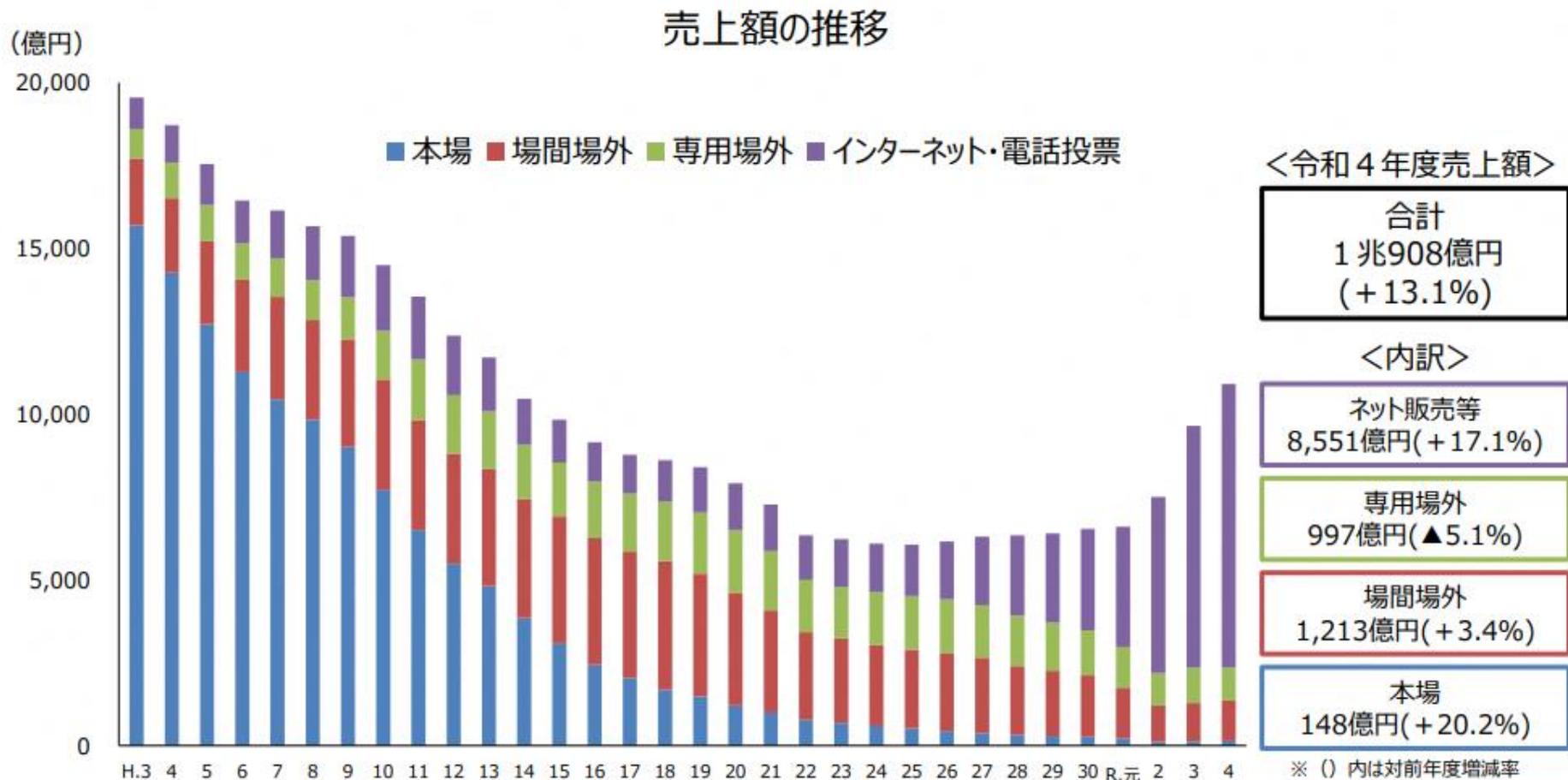


西入場門



向日町会館

2-1 車券売上額の推移（競輪業界全体）



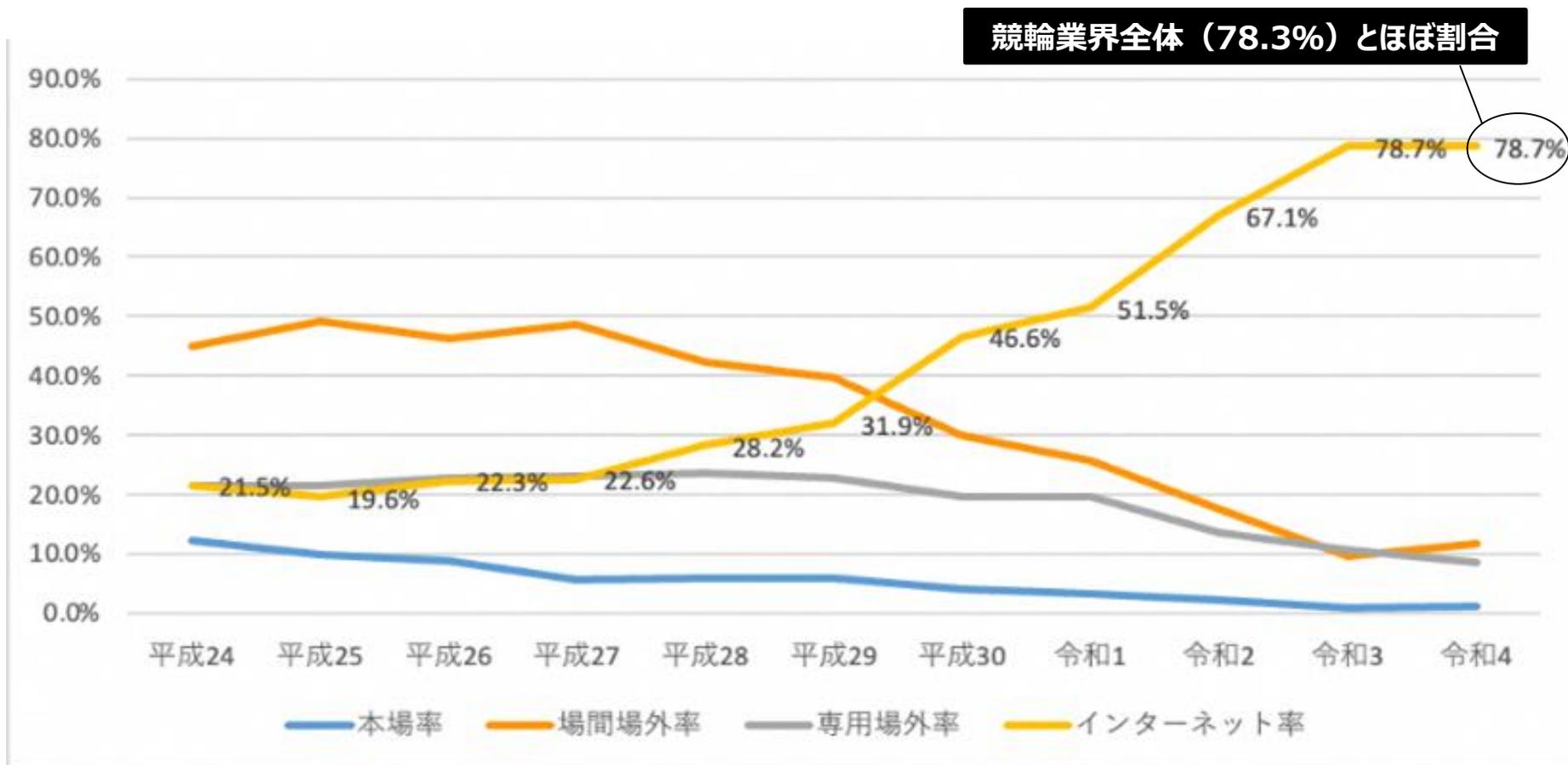
出所：第18回 産業構造審議会 製造産業分科会 車両競技小委員会（2023年5月24日）資料

2-2 車券売上・収支の推移（向日町競輪場）



出所：京都府作成

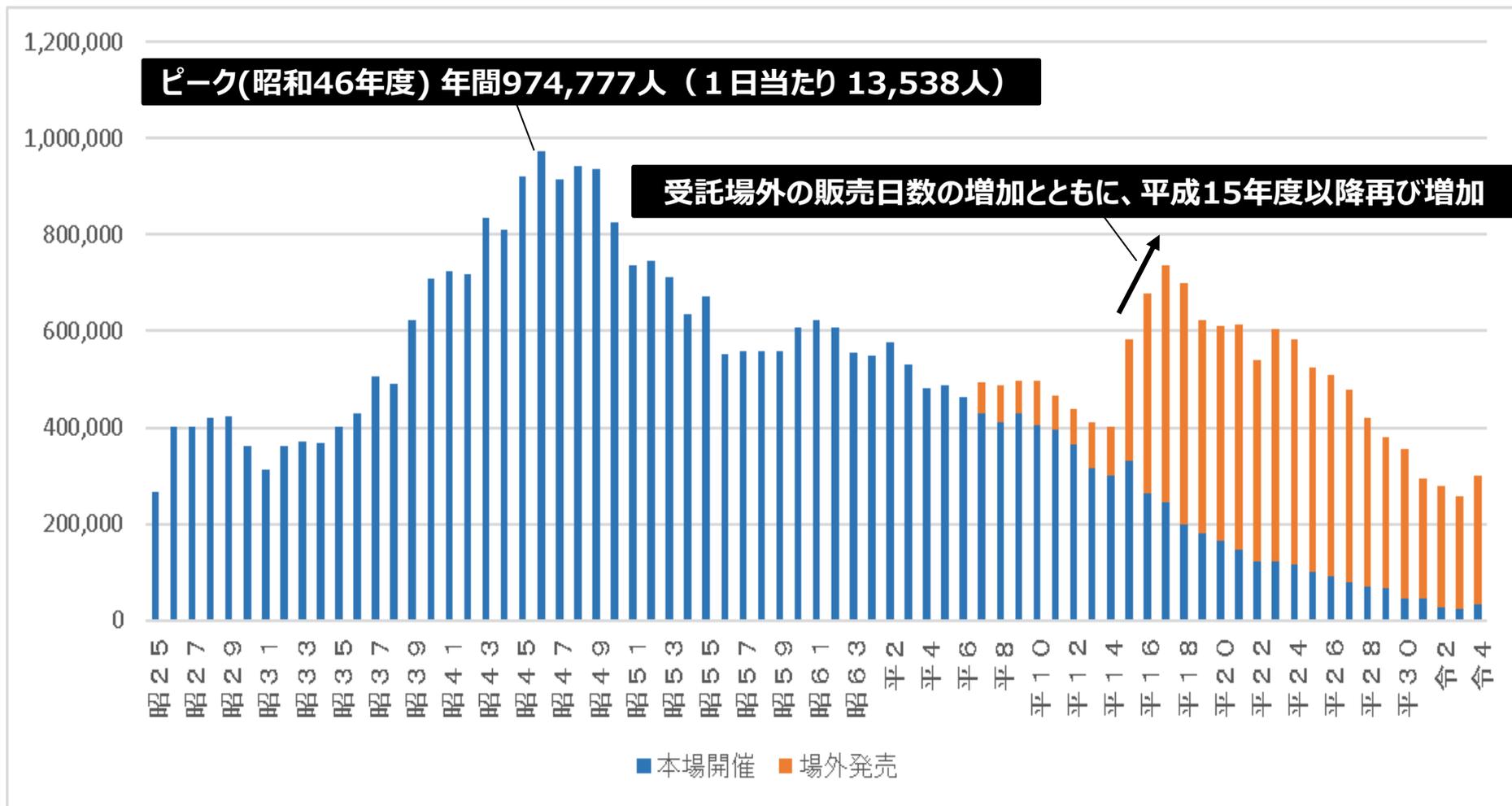
2-3 チャンネル別車券売上比率の推移（向日町競輪場）



- (参考) 本 場：向日町競輪場で開催される競輪を向日町競輪場で販売
場間場外：向日町競輪場で開催される競輪を他の競輪場で販売
専用場外：競輪が開催されている競輪場以外で車券を販売するための施設で販売

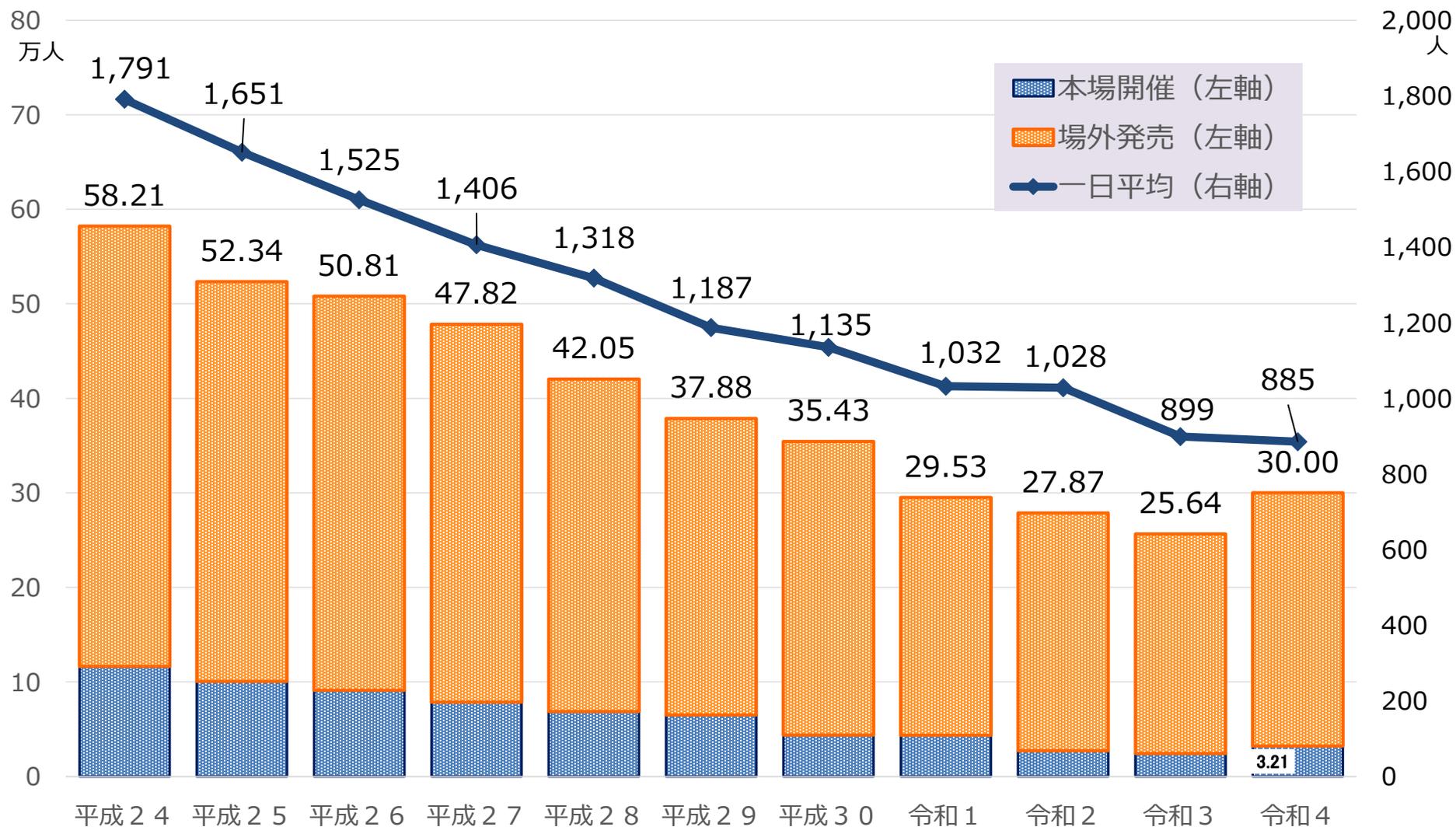
出所：競輪インフォメーションサーチシステム（KISS）より京都府作成

2-4 来場者数の推移（開設後～）（向日町競輪場）



出所:京都府作成

2-5 来場者数の推移（平成24年度～）（向日町競輪場）



3-1 持続可能な競輪事業に向けた取組

(1) 経営改善：収入の確保

特別競輪の誘致 特別競輪(G I・G II)の定期的な誘致により、売上の向上を図る



2023年10月 寛仁親王牌(G I) 弥彦競輪場



2022年7月 サマーナイトフェスティバル(G II) 玉野競輪場



2023年10月 ガールズケイリン
オールガールズクラシック(G I) 松戸競輪場

ネーミングライツの導入

ネーミングライツの導入により、新たな財源確保と民間企業との連携を図る

施設名	愛称	期間	契約金額等/年額(税込)
平塚競輪場	ABEMA湘南バンク	3年+更新3年(R3~9)	1,500万円
武雄競輪場	オズパーク武雄	5年+更新5年(H28~R8)	ファンサービス用の景品や広報用の情報媒体の提供
広島競輪場	チャリットバンクひろしま	2.5年+更新1年(R1~4)	550万円+役務提供110万円以上
館林場外競輪車券売場	トーターレポリューションドーム館林	5年(R3~R7)	1,000万円
グリーンドーム前橋	日本トーターグリーンドーム前橋	4年(R4~R7)	2,750万円
岸和田競輪場	ブッキースタジアム岸和田	5年(R1~R6)	440万円
取手競輪場	楽天Kドリームスバンク取手	3年(R4~R7)	800万円



旧広島競輪場

3-2 持続可能な競輪事業に向けた取組

(2) 来場者の確保

飲食スペースの充実 家族連れや若者を意識した外観・内装・メニュー、カフェ・キッチンカーを誘致する【事例写真】レストラン(左)/オリジナルメニュー開発(中)/キッチンカー(右)



競輪非開催時の有効活用 多様な地域イベントを開催する【事例】向日市まつり、KARA-1ナイト&むこうまちイルミ「食と光の祭典」、年末フードグランプリなど



観光資源化

競輪現地観戦イベントを企画し、新たな来場者確保を図る

名吉屋GIII 現地観戦イベント
加藤慎平と行く!
7月29日(土)・30日(日) 2日間開催!
※単日毎の募集となります
応募期間 6月22日(木)・7月5日(水)

松戸競輪場で生観戦
ストロベビーと行く!
現地観戦イベント
11月23日(木・祝)
応募期間 10月23日(月)・11月5日(日)

3-3 持続可能な競輪事業に向けた取組

(3) 活性化・イメージアップ

自転車競技の振興

バンクリーグの誘致やBMXフラットランドフェス、BMXパンボトラック走行体験会などを開催する



出所：ジャパンサイクルリーグ プレスリリース
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000013.000102078.html>

自転車関連イベントの開催

バンク走行体験会やキックバイク大会などを開催する



地元選手の紹介

【事例】別府けいりん新CMプロモーション
別府けいりんの選手が通う架空の学園を舞台とし、マネージャーあかりと選手による競輪の魅力、青春のトキメキにのせて訴求。YouTubeを活用したCMやプロモーション用のHPも作成。



出所：別府競輪場 プレスリリース
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000013.000035973.html>



アニメを活用した魅力発信 (リンクイ <https://rinkai-pi.com/>)
女子競輪を題材とし、キャラクター、コミック、アニメ等の展開を通じて「競輪」の魅力を発信。



3-4 持続可能な競輪事業に向けた取組

(4) ギャンブル依存症対策

【事例】インターネット投票における購入限度額設定

利用者本人の申請に基づき、インターネットによる車券等の購入の上限額を設定し、特定期間内において設定上限額を超える車券等の購入ができなくなるシステム。

1日当たりの上限額を100円単位で設定が可能。一度設定すると180日間は解除できない。

購入限度額設定	
本日の投票額及び予約額合計	1,526,000円
購入限度額	
設定日	
限度額引き上げ可能日	
購入限度額設定	<input type="text"/> 円
チャリット増設番号	<input type="text"/>

更新

購入限度額設定に関するご注意

この機能はお客様のギャンブル依存症防止のために、1日あたりの車券等の購入額（※）をご自身で制限できる機能です。設定後、180日間は上限の引き上げ・解除はできません。

※一輪車・オートレースの車券、競輪くじ等の購入額、および「当たるんです」の予約額の合算を指します。「当たるんです」の購入予約をした後、購入確定するまでは継続して「本日の投票額及び予約金額合計」に合算されます。

- 1,100円～9,990,000円の範囲で、100円単位で設定可能です。
- 限度額引き上げ可能日以前でも限度額の引き下げは可能です。
- 限度額引き上げ可能日以降は設定額を引き上げることが可能です。

<民間ポータル>
インターネット投票における購入限度額の設定画面

【事例】ギャンブル等依存症問題啓発週間における取組み

ギャンブル等依存症対策基本法において、毎年5月14日～20日はギャンブル等依存症問題啓発週間に定められており、この期間中には、啓発週間ポスターの作成等、ギャンブル等依存症問題に関する関心と理解を深めるための取組みが実施されている。

2023/05/18 00:05

ギャンブル等依存症問題啓発週間における取組みについて

いつもチャリットをご利用いただき、誠にありがとうございます。

ギャンブル等依存症対策基本法において、毎年5月14日～20日はギャンブル等依存症問題啓発週間に定められています。詳しくは[全国公営競技旅行者連絡協議会](https://www.koeikyogi.jp/addiction/self-check.html) オフィシャルホームページをご覧ください。



<民間ポータル>
ギャンブル等依存症対策啓発週間における取組み



ギャンブル依存症セルフチェックツールについて

セルフチェックツールは、ギャンブル依存症の早期発見・早期予防につなげるための簡易的な診断ツールです。下記URLにアクセスし、ご活用ください。

<http://www.koeikyogi.jp/addiction/self-check.html>

<民間ポータル>セルフチェックツールのホームページ掲載



ポスター掲示 玉野競輪場スタンド入口

4-1 競輪場を取り巻くさまざまな環境変化

競輪場を取り巻くさまざまな環境変化

- 長きにわたる売上低迷により、施行者において施設改修等のための必要資金を十分に確保することができず、競輪場の中には老朽化の進む場が存在していたが、近年の売上増加を背景に、競輪場の大規模な改修の動きがある。
- 近年はインターネットによる車券販売の普及により、本場の来場者数は減少傾向にあることから、来場者を増やすために競輪場のイメージアップが重要。さらに、レース非開催日において、競輪場を利用したサイクルイベントの開催等の活用方法を模索する動きが出始めている。
- また、競輪場内にある選手宿舎は主に4人部屋であり、コロナ禍では選手隔離のために選手に分宿させる必要があった。女子選手増加等への対応についても検討する必要がある。

現状

施設の老朽化

来場者数の減少

競輪場イメージアップ
の必要性

女子選手向け設備の
改善を目指す

一部の競輪場における対応例

- ✓ 観客席を縮小し、市民向けの施設を新たに整備
- ✓ 場内未利用施設のスペース活用
- ✓ 民間企業の資金による大規模改修
- ✓ 女子選手対応宿舎の新設 等

→ 施行者自身が経営判断し、各場の特色を生かした競輪事業運営をより一層進めるべきではないか

4-2 施設の再整備（他の競輪場の例）

近年、資金調達能力や豊富な経営ノウハウなど民間事業者の強みを活用して、施設・機能を集約化の上、全面的な再整備を実施した（実施している）競輪場

<玉野競輪場（岡山県）> <広島競輪場（再整備中）> <高松競輪場（再整備予定）>



出所：玉野競輪場HP



出所：広島競輪場HP



出所：高松競輪場HP

- ・老朽化した施設の撤去・更新を行うと同時に、サービス機能、運営機能等の集約を行い、コンパクトな運営を実現
- ・老朽化した施設の除去により、確保できるゾーンについては、地域の活動に利用できるようなスペースとして開放できるような整備も検討

- ・老朽化した競輪場を自転車によるスポーツやレジャー等のニーズに対応する複合的な施設に再整備

- ・老朽化した既存施設を集約・コンパクト化し、これによって生じる余剰地等の利活用について民間活力を導入することにより、公正・安全な競輪開催に加え、未来のサイクリストの育成や臨海部の賑わいを創出するなど、競輪場を核とした「自転車を中心としたまち」へと誘導

4-3 施設の再整備（他の競輪場との施設・機能の比較）

	玉野競輪場 (再整備済)	向日町競輪場 (現状)	広島競輪場 (再整備後)
収容人数	約15,000人 →11,000人	約20,000人	約22,600人 →8,500人
平均来場者数 (R4)	490人/日	885人/日	1,174人/日
バンク	400m	400m	400m
選手宿舎	123室(個室)	30室119人(相部屋)	131室(個室)
選手管理センター	約820㎡	約1,500㎡	約1,150㎡
自転車検査場	約275㎡	約350㎡	約395㎡
スタント`収容人数 観覧席	1,162人収容 314席(▲93%)	約10,000人収容 約2,700席(閉鎖中を除く)	約4,700人収容 770席(▲66%)
投票窓口	16箇所 (場外発売用6箇所)	25箇所 (場外発売用なし)	28箇所 (場外発売用3箇所)
入場門	約1,250㎡(屋根部分)	2箇所 計約460㎡	なし(ゲート管理)
売店	2店舗 約35㎡	8店舗 約970㎡	6店舗 約60㎡
事務室	約122㎡	約120㎡	約124㎡
駐車場	4箇所 1,375台	4箇所 1,260台	3箇所 990台

4-4 来場者数（年間、1日当たり平均・最大）の状況（向日町競輪場）

年度	場外発売時 来場者数					本場開催時 来場者数				
	年間 来場者数 A	場外 日数 B	1日当たり 平均 来場者数 A/B	1日当たり 最大 来場者数 C	備考	年間 来場者数 D	本場 日数 E	1日当たり 平均 来場者数 D/E	1日当たり 最大 来場者数 F	備考
平均	321,887	271	1,189	3,999		57,492	41	1,392	3,287	

令和4	267,906	302	887	2,897	12/30(金)平塚GP	32,139	37	868	2,196	9/24(土)平安賞
令和3	232,075	256	906	2,844	12/30(木)静岡GP	24,368	29	840	無観客	9/2~5平安賞
令和2	251,607	243	1,035	2,870	12/30(水)平塚GP	27,125	28	968	2,167	9/6(日)平安賞
令和元	251,748	249	1,011	3,139	12/30(月)立川GP	43,508	37	1,175	2,521	9/29(日)平安賞
平成30	310,331	278	1,116	3,825	12/30(日)静岡GP	43,939	34	1,292	2,584	9/24(日)平安賞
平成29	313,635	273	1,148	4,153	12/30(土)平塚GP	65,138	46	1,416	4,183	9/3(日)平安賞
平成28	351,820	273	1,288	4,433	12/30(金)立川GP	68,660	46	1,492	3,359	10/2(日)平安賞
平成27	399,688	291	1,373	5,116	12/30(水)京王閣GP	78,518	49	1,602	4,204	10/4(日)平安賞
平成26	417,078	281	1,484	5,163	12/30(火)岸和田GP	91,054	52	1,751	4,422	8/3(日)平安賞
平成25	422,982	262	1,614	5,552	12/30(月)立川GP	100,466	55	1,826	3,948	9/23(日)平安賞

※本場日数は、ミッドナイト競輪（無観客開催）は除く

※平均来場者数は、端数切捨

4-5 観客席の規模（イメージ）

■ 平均来場者数などを踏まえ、来場者数に対して過大な規模となっている観戦・投票施設（スタンド等）の規模を、下記のとおり設定

<現状>

中央スタンド 一般席	1, 8 1 8
観戦スタンド 1階屋外スタンド	2 6 5
2階屋内スタンド	2 1 9
3階特別観覧席	4 0 7
小 計（座席数）	2, 7 0 9
第1・2観覧席（閉鎖中）	1, 3 4 9
計（座席数）	4, 0 5 8

<再整備後（イメージ）>

スタンド	5 0 0
場外発売時車券投票所	1 0 0
計（座席数）	6 0 0

<参考：広島競輪場>
2,296席→770席

	階数	座席種類	座席数	
スタンド棟	1階	屋内一般席	約 150 席	
		屋外一般席	約 150 席	
	2階	屋内一般席	約 190 席 (車椅子 2 席)	
		指定席 グループ席	約 110 席 (車椅子 2 席)	
	3階	特別観覧席	約 40 席	
	4階	屋上席	約 130 席	
	合計			約 770 席



中央スタンドと観戦スタンド
(現状)



玉野競輪場（集約化後）

4-6 バンクの仕様・バンク内の敷地の活用

■バンクの周長は、250m、333m、400m、500mであり、400m、次いで333mが多い。

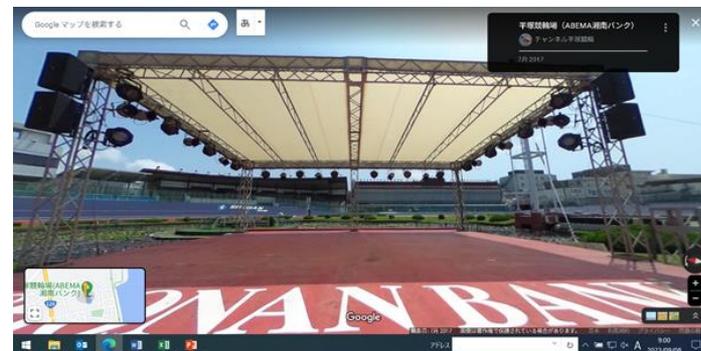
	333m	400m
全 国 状 況	7場（前橋は、335m）	32場
	※その他（250m：1場（千葉）、500m：3場） 競輪場ではない自転車競技場（全10箇所）は、333m	
レース展開	コーナーの傾斜角度が急であり、その影響により、選手がカーブを通過する時もスピードが落ちにくい ため、迫力あるレースを楽しむことができる	全国的に数が多く、400mバンクに慣れていない選手はいないことから、どの選手でも普段どおりの実力を発揮しやすい
その他	アマチュアの自転車競技大会等の誘致が可能	

出所：京都府作成

バンク内の敷地の活用イメージ

人工芝	映画上映 芝生に寝転がって天体観測、お泊まり会
舗装	お祭り開催（キッチンカーや簡易テントでの出店） キックバイク、インラインスケート、スケボーなどに使用可能

<参考：バンク内ステージ>



出所：平塚競輪場HP

4-7 選手宿舎の新築（イメージ）

老朽化が進むとともに、相部屋（4人部屋）であることから感染症対策に十分対応できておらず、浴室が男女共用となっているなど女子選手への対応もできていない。



相部屋（4人部屋）（現状）



食堂（現状）



浴室（現状）



個室（玉野競輪場）



食堂（玉野競輪場）



浴室（玉野競輪場）

4-8 スタンドの新築（参考事例①）

■ 観戦・投票施設・機能の集約化、環境の改善、運営の効率化

インターネット投票の増加や無観客で行われるミッドナイト競輪の開催による来場者の減少を踏まえ、過大な規模となっている施設・機能の集約化（再整備）

来場者に対して快適な観戦・投票環境を提供するとともに、運営コストも削減（玉野競輪場の例：清掃（▲約1/4）、警備（▲約1/2）、投票機保守（▲約1/3））

<設置例 1> 武雄競輪場

■ 来場者数に対して過大で、老朽化している中央スタンド・サイドスタンドをコンパクトに集約化（解体の上、新設）

- ◆ お客様スペースを約 1 / 3 にコンパクト化（収容人数：約 7 8 0 0 人→約 1 0 0 0 人）
- ◆ 全館冷暖房完備、場内映像HD化による鮮明な映像の提供



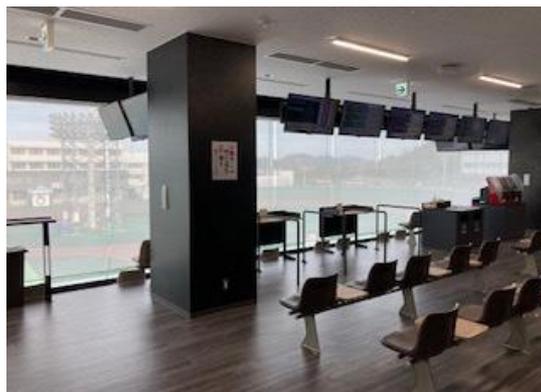
4-9 スタンドの新築（参考事例②）

<設置例 2> 玉野競輪場（岡山県）

■ 施設の老朽化や観戦スタイルの変化に対応するため、大規模リニューアル

<観客席、レストランなどを備えたスタンド棟>

- ◆ レースを観戦しながら瀬戸内の食材を使った料理が楽しめるレストラン
- ◆ 迫力あるレースを間近で楽しめる観客席、グループで楽しめるプレミアムラウンジ、ベビー休憩室など



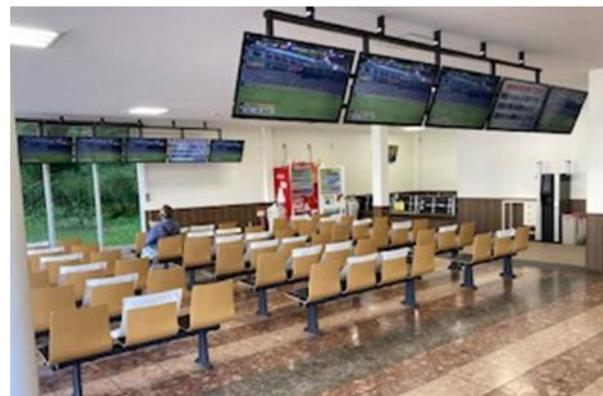
<施設整備のコンセプト（玉野競輪場施設整備基本計画より）>

- ・ 老朽化した施設の撤去・更新を行うと同時に、サービス機能、運営機能等の集約を行い、コンパクトな運営を実現
- ・ 老朽化した施設の除去により、確保できるゾーンについては、地域の活動に利用できるようなスペースとして開放できるような整備も検討

4-10 場外発売時車券投票所の新築（参考事例）

■ 他の競輪場で開催されている競輪の車券発売のための施設を、スタンドとは別に、スタンドに近接する位置に新築することにより、広範囲に分散していた投票施設を集約し、場外発売時の開放エリアを限定することで、運営コストを削減

＜設置例1＞
武雄競輪場
ミニタケ発売所



＜設置例2＞
玉野競輪場
※正門付近に設置
※公道に面しており、
仕切り等なし



4-1-1 事業手法の比較

手法	事業方式	資金調達	設計・建設	維持管理・運営	施設の所有		備考
					運営中	事業終了後	
公設公営方式		府	府	府	府	府	武雄競輪場 防府競輪場
公設民営方式		府	府	民間	府	府	川崎競輪場 豊橋競輪場
DB 方式 (Design- Build)		府	民間	府	府	府	
PFI 手法	BTO 方式 (Build-Transfer- Operate)	民間	民間	民間	府	府	
	BOT 方式 (Build- Operate -Transfer)	民間	民間	民間	民間	府	
	BOO 方式 (Build-Own- Operate)	民間	民間	民間	民間	— (解体)	広島競輪場 (34年) ※BOO方式に準拠
PFI的 手法	DBO 方式 (Design- Build- Operate)	府	民間	民間	府	府	玉野競輪場 (20年) 高松競輪場 (30年)

■ PFI (Private Finance Initiative)

公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行い、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図るという考え方。PFIの事業方式として、BTO、BOT、BOOがある。

- ・ BTO (Build Transfer Operate) 民間が施設整備後に公共が引き続き所有する方式
- ・ BOT (Build Operate Transfer) 民間が施設を所有し、契約期間終了後に所有権を公共に譲渡する方式
- ・ BOO (Build Own Operate) 民間が施設の整備、管理を行い、契約終了後に民間が施設を保有し続けるか、撤去する方式

■ DBO (Design Build Operate)

PFIに類似した事業方式の一つで、公共が資金調達を負担し、設計・建設、運営を民間に委託する方式。民間の提供するサービスに応じて公共が料金を支払う。民間が資金調達を行うのに比べ、資金調達コストが低いため、コスト縮減率≒VFMで有利になりやすいことが特徴。

一方、公共が資金調達を行うため、設計・施工、運営段階における金融機関によるモニタリング機能が働かない（働きづらい）点がPFIと異なる。

4-12 主な競輪場の整備状況

競輪場名	整 備 期 間	事業費	競輪事業の継続に必要な施設								老朽化 施設 除却	財 源			備 考
			バンク	照明 設備	選手 宿舎	選手 管理棟	メイ ン スタ ンド	駐 車 場 エ ン ト ラ ンス	場 外 発 売 時 投 票 所	その他		基金	地方債	その他	
向日町競輪場			○	○	○		○	○	○	○	○				
川崎競輪場	H24～R5	約52億円	○	△		○	△	○			○	●			既設照明をLED化
武雄競輪場	H26～H30	約21億円	○	○			○		○	○	○	●			その他：公園整備等
豊橋競輪場	H28～R9	約30億円	○	○	△	△	△	○	△	○	○	●			その他：イベントスペース整備等
岸和田競輪場	H30～R3	約36億円	○			○	△		○	○	○	●	●		その他：BMXコース、公園整備等
玉野競輪場	R2～R3	約20億円			★		○				○	●			★事業者負担で、選手宿舎兼トイレを整備（約32億円）
防府競輪場	R4～R6	約30億円					○			○		●	●		その他：交流広場、多目的広場駐車場
高松競輪場	R6～R9	約75億円	○	○		○	○	★	(仮設)	★	○	●	●	● 賃料	その他：広場整備 余剰地：★民間資本で整備
広島競輪場	R4～R8	★民間資本により全面整備を実施（市は、65億円程度を想定）											別途、解体費のみ市が負担（約12億円）		

※京都府調べ

※○：事業費に含まれる施設整備 ★：民間資本で整備
※メインスタンド等 ○：新設、△：耐震化・改修

出所 京都府作成